



けんせつ

じょうしょう

上小

2021

第31号

CONSTRUCTION JOSHO

長野県建設業協会 上小支部広報誌
2022年(令和4年)3月1日発行

創造・喜び・実感産業

未来へつなぐプロジェクト



目次

- | | |
|---|--|
| ■東日本台風災害特集…………… 2～11
「未来に向けてより強く、より安全な地域へ」 | 上田千曲高校
・地元企業でインターンシップ
・臼田地区新小学校などを見学 |
| ■千桜会(女性部会)…………… 12～13
「自分らしく働くために
女性が個性や能力を発揮できる建設業革命!!」 | ■支部活動報告Ⅱ…………… 16～17
第24回上小中学校一年生野球大会
年末工事現場安全パトロールを実施
建設系高校との意見交換会を開催 |
| ■支部活動報告Ⅰ…………… 14～15
丸子修学館高校
・代人部会が「丁張」技術を指導
・岩盤崩落現場などを見学 | ■上小支部の仲間たち…………… 18～19
■若手インタビュー／編集後記…………… 20 |

未来に向けてより強く、 より安全な地域へ

東日本台風災害特集

長野県を南北に縦断し、東北信を中心に甚大な被害をもたらした2019年10月の台風19号(東日本台風)による被害から、2年5カ月が経過。ここ上小地域でも、被災直後から各地で懸命な復旧作業が行われました。河川の工事は作業できる期間が降雨量の少ない湯水期(11月から5月)に限られるため復旧作業は長期に及びましたが、2022年3月末現在、多くの現場で復旧工事が完了しつつあります。台風災害の復旧工事は一段落しますが、「地域に住む人々の安全・安心を守る」という建設業の大切な役割は、今後も続きます。



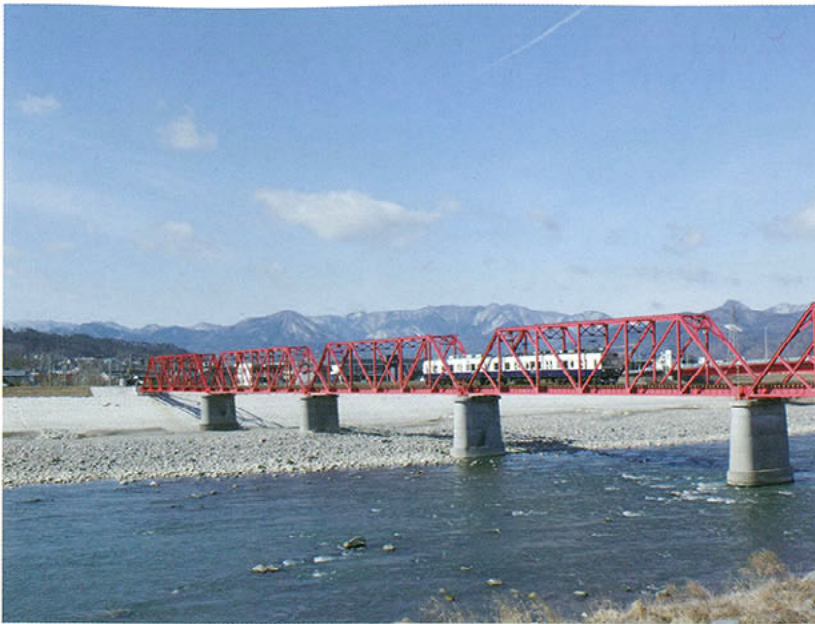
2020年3月 「田中橋」が通行止め解除

東御市の丸子東部インター線「田中橋」は、被災から約5カ月後の2020年3月11日、通行止め規制が解除されました。

千曲川の増水による影響で右岸側の道路が崩落し、全面通行止めになっていました。現場は丸子方面から東御インターへ向かう主要幹線道

路だったため早期の開通が求められ、連日夜遅くまで作業が行われました。

通行止め解除の当日は地元の方が大勢駆けつけ、自らの足で橋を渡り開通を喜びました。



2021年3月 上田電鉄「別所線」が全線開通

上田市の千曲川にかかる「赤い鉄橋」こと上田電鉄別所線「千曲川橋梁」も復旧工事を終え、被災から約1年5カ月ぶりとなる2021年3月28日に全線開通しました。

千曲川の増水により左岸側の護岸が削られて橋台が流出。鉄橋が崩落したため、一部区間の

運行が停止されていました。

被災当時、被害の拡大を防ぐため、橋が崩落した直後から24時間体制で応急復旧が行われました。

開通セレモニーには赤羽国土交通大臣や地元小学生を乗せた電車も駆けつけ、開通を祝いました。



2022年3月 東御市「海野宿橋」が復旧完了

東御市の市道白鳥神社線「海野宿橋」が復旧工事を終え、被災から約2年5カ月ぶりとなる2022年3月1日に開通しました。

千曲川の増水により護岸が削られ、海野宿橋の橋台や道路が崩落。被害規模が甚大だったため、応急復旧後は国の直轄権限代行により復旧

工事が進められていました。

被災直後から復旧対応が始まり、橋のすぐ下を走るしなの鉄道の運行再開までの1カ月間、地元企業7社が力を合わせ、24時間体制で応急対策工事にあたりました。

再び地域をつなぐ 内村橋が完成

台風19号で被害を受けた膨大な箇所のうち、上小管内では今年度新たに「内村橋」の架け替え工事が完了。ここでは災害復旧工事の一例として内村橋をピックアップし、地域のために建設業が果たしている大切な役割をお伝えします。

2年1カ月ぶりに日常生活に戻る

内村橋は、上田市丸子の市街地と鹿教湯温泉を結ぶ県道荻窪丸子線に架かる橋。通勤、通学などに利用される生活道路として、重要な役割を担ってきました。

被災当時、増水による影響で上流側にあった歩道橋が落下。その後、下流側の車道橋にも沈下が確認されたことから、全面架け替えに向けて計画が進められていました。被災した橋には2基の橋脚がありましたが、増水した際に、橋脚周辺の地盤が削られて再び橋がダメージを受

けることのないよう、新しい橋は橋脚を設けない設計となりました。

地元の方からの「一日も早い開通を」との強い願いもあり、工期の短縮も図られました。通常、橋台の設置が完了した後に橋の製作にかかることを、同時進行とするスケジュールに変更。当初の目標より8カ月前倒しした2021年11月に無事完成を迎え、実に2年1カ月の時を経て地元住民に日常生活が戻りました。



被災直後。上流側の歩道橋が落下

11月28日、開通式が開催されました



2世帯3世代のご家族による渡り初め。橋が末永く受け継がれることを祈願

橋が完成するまで



① R2・12月
①、②橋台の設置工事が進む。コンクリートが凍みないよう、打設後は周囲を囲い、温度管理を行う



⑤5月
⑤工場で製作されていた橋(上部工)が到着



③2月
③出来上がった部分の橋台が埋め戻される



④4月
④護岸が出来上がる



⑥7月
⑥床版の施工が進む

地元の方は完成を心待ちに

地域にお住まいの方にとって内村橋は重要な生活道路。作業が進む間、開通を心待ちにする地元の方々が毎日代わる代わる訪れ、日々変化していく現場の様子を見守りました。

7月21日には丸子修学館高校工業科の生徒38人も現場を訪問。橋台など基礎部分にあたる「下部工」を担当する栗木組と、橋の床部分にあたる「上部工」を施工するトリアンが案内を担当。生徒たちは説明を受けながら、床版（床板部分）の施工が進む地元の橋を見学しました。



掲示板の進捗写真に「だいぶできてきたね」



地元の高校生も見学に訪れました

内村橋の復旧に携わって

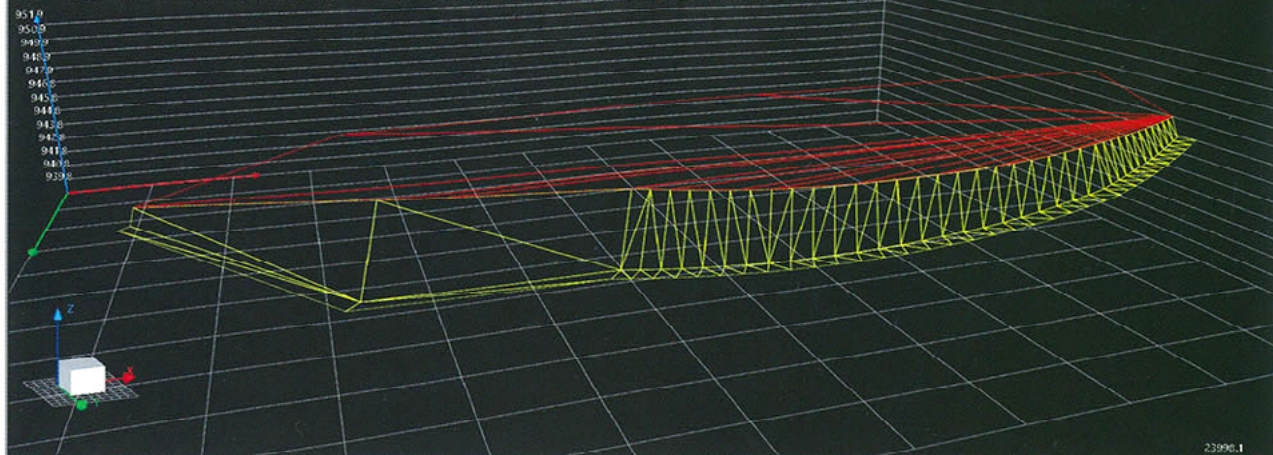


武井元博さん／(株)栗木組

開通前は一本下の橋が毎朝渋滞していましたが、開通後はそれが解消されました。小学生が橋の歩道を歩いて通学しているのも見え、橋が使えない間、みなさん不便していたんだなということを実感しています。

内村橋には全面通行止めから携わり、それ以降橋の解体撤去を含め全てに携わってきました。一番寒い時期の工事だったためコンクリートの養生にはとても気を使いましたし、川幅が狭く水位があがりやすいこと、道路際でのクレーン作業など気を使うことの多い現場でしたが、今は無事に開通することができてよかったの一言です。

災害復旧工事でも先端技術を活用



ICTで効率化・省力化

いま建設工事の現場では、効率よく、生産性を上げて作業を進めるためにICT（情報通信技術）の活用が進んでいます。ここでは、災害復旧工事にICTを採り入れた現場を一例としてご紹介します。

上田市武石地域の現場では、台風19号の増水により護岸が大きく削られる被害を受けました。そのうち施工が完了した箇所は103mほど。新たにブロック積みの護岸を作る工事で、測量と、重機で法面を掘削する作業などにICTが活用されました。

測量では、専用の機械（写真下）を使用。基準となる基地点に機械を置き、手元の機器と連動させて距離と角度を計測します。これにより、今まで2人で行っていた作業を1人で行うことができるようになりました。

重機で掘削する作業の前に行うのは、3次元データ（写真上）の作成です。3次元のデータは、測量して得たデータや設計図面（平面図・横断図・縦断図）に書かれている数値をそれぞ



画面に表示されている角度どおりに作業できる

れ入力して作ります。このデータを重機のコックピットに取り付けられた端末に送信すると、重機はそのデータに沿ってガイダンスし、運転席での作業をサポートしてくれます。

通常、このような工事を行う際には「丁張」という目印となる板を設置する必要がありますが、この技術を使うことによって丁張を掛ける作業がなくなり、工事を早く終わることができるようになりました。



ICT豆知識

現在、建設工事でICTを使うケースは大きく次の5つです。

- ① **測量**（工事を始める前に行なう測量）
- ② **設計**（図面や測量から得たデータをもとに3次元のデータを作成）
- ③ **施工**（3次元データをもとにICT建機を使って工事）
- ④ **施工管理**（完成した工事の出来具合を3次元データと照らし合わせて確認）
- ⑤ **納品**（施工内容を3次元データで発注者に納品）

近年、ICTの活用が盛んになってきています。



より安全な現場へ

安全性の面でもICTは大きく貢献しています。ICTを活用すると、現場ではオペレーター1人で重機の作業を行うことが可能になります。作業の際、近くで高さなどを見ていた人員が必要なくなるため、重機と人が接触する事故の危険性も減少。災害現場のように、危険な場所へ人が踏み入って作業する必要も減るため、より安全に工事を進めることができるようになってきました。

パワーアシストスーツが建設業にも

いろいろな産業で使われるようになってきたパワーアシストスーツ。建設業での導入も進みそうです。スーツを着ることで、重いものを持ち上げる際や、持ったまま歩行する際などに機械による補助が入り、負担を軽減してくれます。

建設業での活用はまだこれからですが、本格的に導入されるようになれば作業する人の足腰への負担や怪我の危険性が減少することが期待されます。



40キロのブロック。体への負担なく上げ下ろしできる

ICTについてお話ししてくれたお二人



武村将司さん 山下遼太さん
/ 株式会社小山産業

ICTを使うと、今までよりも少ない人数・時間で安全に簡単に作業することができます。男性が多い建設の仕事ですが、ICTでできることが増えれば、女性ができる仕事も増えます。技術の発展に伴い、もっとこの業界にも女性が増えていけばいいですね。 (武村さん)

ICTを使った作業は若手の社員にとっても好評です。私の祖父も建設業に携わっていましたが、昔祖父がつくった石積みも、今もそこに残っているんです。自分たちが作ったものが後々まで残る。そんなところにもこの仕事の魅力を感じますね。 (山下さん)

頑張りました 建設業 これから先も

上田市



諏訪形(千曲川) / 株式会社 宮下組



御所ほか(御所小牧線) / 株式会社 宮下組



諏訪形(千曲川) / 株式会社 栗木組



境橋上(神川)
/ 株式会社 宮下組



岩下(神川)
/ 株式会社 宮下組

丸子地区



霊泉寺上(霊泉寺川) / 株式会社 栗木組



東内(栗山沢) / 青木建設工業株式会社



長瀬(依田川) / 株式会社 栗木組



長瀬(依田川ほか) / 山眞建設(有)



御嶽堂(内村川) / 青木建設工業株式会社

真田地区



戸沢橋上(神川) / 株式会社 篠宮下組



戸沢橋下(神川) / 千曲建設工業株式会社



傍陽(神川ほか) / 株式会社 堀内建設



川奇橋 / 株式会社 春原建設



大日向(神川ほか) / 株式会社 春原建設

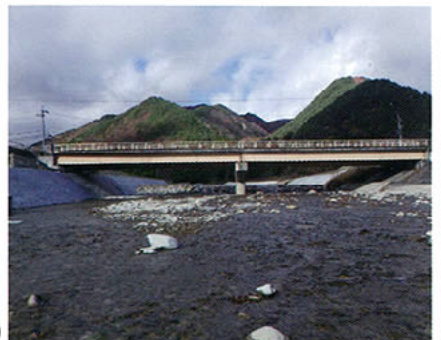


長(横沢角間線) / 株式会社 春原建設

武石地区



上武石(常滑線)
/ 株式会社 松井建設



武石新橋(美ヶ原公園沖線)
/ 北澤土建株式会社



小沢根(武石川)
/ 北澤土建株式会社



上小寺尾橋(武石川)
/ 北澤土建株式会社



大日向(鹿曲川ほか)
/東部開発(株)



田中橋(丸子東部インター線)
/竹花工業(株)田中支店



田中橋上(千曲川)
/竹花工業(株)田中支店



田中橋下(千曲川)
/竹花工業(株)田中支店



赤岩(千曲川)
/東部開発(株)



本海野(千曲川)
/株羽田組



布下4号(千曲川)
/青木建設工業(株)

現在も各所で復旧作業
これからも地域の安
建設業は頑

長和町



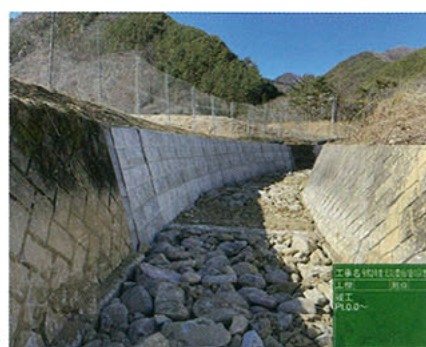
大門(本沢川ほか) / 榑金井組



長久保(宮所上五十鈴橋) / 榑羽田組



和田(水沢)
/ 榑羽田組



長久保(仙ノ倉川)
/ 榑羽田組

青木村



県道下奈良本豊科線
/ 宥岩下組



沓掛(リフレッシュパーク)
/ 宥岩下組

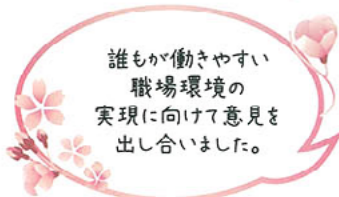
は続けられています。
安全・安心を守るため、
頑張ります。

自分らしく働くために 女性が個性や能力を発揮できる建設業革命!!

令和4年4月から「女性活躍推進法」が改正されます。
政府も本格的に「女性の働きやすい環境づくり」を推進しています。
千桜会の活動のなかでも情報共有を行い、つながりを深め、
女性が個性や能力を発揮できる建設業界を目指しています。

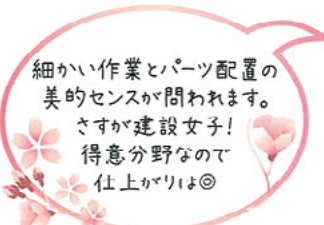
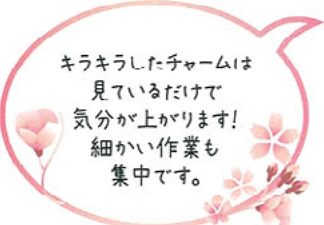
女性がいきいきと働ける建設業界を目指して 第1回・第2回 千桜会 意見交換会

女性の働く環境の改善と魅力向上を目的に、
活発な意見交換を行いました。
ジェンダーにとらわれない
若手の育成・就労継続、
選ばれる業界を目指して、
千桜会は発信していきます。



おしゃれ&かわいい&個性的 ハンドメイドのバッグチャームづくり

気分が沈みがちなコロナ禍、
チャームをバッグに付けると
元気が湧いてきます。
幸運を運んでくれそうな「チャーム」づくり。
少しでも明るい日常を過ごしたいと、
久しぶりに千桜会員も集まりました。





女性の視点で建設現場での労働災害を防ぐ 年末工事現場パトロール



建設業界にとって最重要といえるのは、労働災害を防止することです。「現場に携わる人たちが安全に作業できる環境をつくる」を合言葉に千桜会のメンバーもパトロールに参加しました。



パトロール表の記入は千桜会の役目です。女性目線で現場の安全・衛生面をチェックしました。



他社の安全管理や創意工夫を知ることができて、とても勉強になりました。



千桜会員募集中

女性が働きやすく、働き続けられる職場環境を整備するために千桜(さくら)会は活動しています。技術者、営業担当者、事務職の女性の皆さん、一緒に参加しませんか？上小地区の建設業界で働く女性を応援しています！



女子会のお弁当日記

今回のお弁当は上田市緑が丘にある「コメダ珈琲店」さん。

店員さんおすすめはコーンスープ
心もカラダも温まりました♡



野菜がシャキシャキのハムサンド！
からしマヨネーズがツンとアクセントに！



コメダ珈琲店 上田緑が丘店
上田市緑が丘1-1-6
TEL0268(71)5133

千桜会広報委員会



Member

会長：石塚 夕起 【榊宮下組】
会員：伊東 由香 【東部開発(株)】 粕尾 優希 【榊春原】
塚本 優 【榊羽田組】 金井 のぞみ 【榊創恒】

千桜会の活動も年々充実してきています。コロナ禍、感染対策を整え「体験型研修会」や「ランチミーティング」に加え、男性と一緒に工事現場のパトロールにも積極的に参加。女性ならではの視点と発想で、今では欠かせない存在になりつつあります。来年度も女子力で建設業界を盛り上げていきたいと思ひます。 副会長 伊東 由香

丸子修学館高校 代人部会が「丁張」技術を指導



座学では計算方法を指導

5月24日、工業科の3年生28人を対象に丁張技術実習を開催しました。実習は上田建設事務所と協力して2004年から実施しているもので、今回で21回目。代人部会と支部会員のメンバー15人が同校を訪れ、技術指導を行いました。

生徒たちは午前中の座学で法面の傾きや法肩、法尻の位置を計測する方法を学び、午後は6班に分かれ、レベルを使った法板設置などの実技指導を受けました。



協力し合い実技に臨む

柳沢支部長は「分からないことがあればなんでも聞いてほしい」と呼びかけ、実習を主催した上田建設事務所の倉田雅史整備課長は「地域に根差し、重要な役割を担っている建設業に一人でも多くの方に携わってほしい。実習を通じて建設業に興味を持ってもらえたら」と期待を込めていました。

丸子修学館高校 岩盤崩落現場などを見学



崩落現場を間近で見学した

5月26日、工業科の2年生25人が上田市内の工事現場を見学しました。生徒が建設業の仕事に興味を持ち、進路選択の参考になるようにと上田建設事務所と協力し毎年行っているものです。

4月に岩盤崩落が発生したとみられる武石上本入の美ヶ原公園沖線27号カーブ付近では、工



事着工前の現場を見学。施工を担当する北澤土建の北澤隆洋社長から今後の復旧作業の進め方などについて説明を受けました。生徒たちは崩落現場を目の前にして災害規模の大きさに驚いた様子で、注意深く現場の状況を確認していました。

このほか、同社に入社した同校卒業生が働く現場や河川の災害復旧工事の現場も訪れ、それぞれ説明を聞きながら被災状況や工事の様子を見学しました。

上田千曲高校 地元企業でインターンシップ



3DCADの操作を体験

3月9日から23日までの間、建築科の2年生を対象にしたインターンシップを会員企業など11社の協力を得て行いました。例年、ハローワークを通じて夏に生徒たちを送り出していましたが、昨年はコロナ禍の影響により企業紹介の斡旋が受けられなかったことから、同校の依頼を受け、上小支部が高校と企業とを橋渡しして実現しました。

窪田建設では、3月12日に生徒4人が就業体



験に参加。午前中は立科町で上棟を迎えた木造2階建ての住宅を訪れ、建物や図面を見ながら職人や現場監督からレクチャーを受けたほか、午後は同社で3DCADの操作を体験。生徒自身で平面プランを作り、2人で1台のパソコンを交互に使いながら立体図にしていく作業を行いました。

参加した男子生徒は「初めから完成まで全部自分が関わる仕事。満足してもらえるような良い家建てたい」「設計段階から家を建てるビジョンを描く、やりがいのある仕事」と建築の魅力を話していました。

上田千曲高校 白田地区新小学校などを見学



完成した信濃美術館を見学

11月29日、建築科の2年生39人が、春に完成した県立信濃美術館と佐久市白田地区新小学校の工事現場、木下建工の新社屋を見学しました。現場見学会は毎年行っているもので、今年も上田建設事務所と上小支部が協力して開催しました。

建設が進められている佐久市の白田地区新小学校の現場では、現場代理人から工事概要や施工手順などについて説明を受けた後、工事の様



新小学校の工事の様子を確認

子を見学。生徒たちは今後の工事の進め方などについて質問し、熱心にメモをとるなど興味深く見学していました。

同行した上田建設事務所建築課の田尻和久課長は「このような現場見学会で建設業に興味をもってもらい、一人でも多くの生徒が建設業に進んでくれたら」と話していました。

第24回上小中学校一年生野球大会

3年ぶりに開催 東部中と上田一中が優勝



11月14日、上田市の丸子総合グラウンドで「第24回建設旗・ロータリー杯争奪上小中学校一年生野球大会」を開催しました。

試合経験の少ない中学1年生の野球レベルの向上と、学校間の親睦を図るため当支部の主催で毎年開催しているもので、今年で24回目を数えます。2019年は台風19号災害、2020年は新型コロナウイルス感染拡大により中止となり、

3年ぶりの開催となりました。

大会は上小地区11中学校から野球部員1年生が集まり6チームを編成。2ブロックに分かれてリーグ戦が行われ、各チームが2試合を戦いました。Aブロックは東部中学校、Bブロックは上田第一中学校が優勝という結果になりました。

選手のみなさん、お疲れさまでした！



年末工事現場安全パトロールを開催 ハローワークの職員も参加



担当者と安全状況の確認を行った

12月7日、建災防上小分会と共催で年末工事現場安全パトロールを開催しました。今回は、建設業への入職支援に力を入れる長野労働局からの要望で特別に公共職業安定所（ハローワーク）の職員も参加し、総勢38人で管内の工事現場を巡視しました。

パトロール終了後の報告会には、会場とオンライン合わせて約100人が参加。各班の報告で



は、安全に関する改善点のほか、建設業のイメージアップにつながるとして現場入口にプランターで花を設置している現場などが紹介されました。

土木の班に同行した上田公共職業安定所の職員は「大変な仕事ではあるけれど、安心して仕事ができるよう皆さんが安全ひとつひとつに気を使われているのが何えた。職業安定所でも建設業界の推進をしようという動きがある。またそういった機会を作っていけたら」と話していました。

建設系高校との意見交換会を開催 建設業の面白さ知る機会を



支部からは13人が参加

12月14日、上小建設会館で上田千曲高校、丸子修学館高校との意見交換会を開催しました。当支部からは柳沢支部長ら13人が参加し、企業説明会を重ね建設業を理解してもらう機会を増やすことや、現場見学会では同じ現場を何回かに分けて見ることで建設工事の面白さを知って



柳沢支部長

もらうことなどを学校側に提案しました。

学校側からは「生徒は給与や賞与のほか、昇給にも関心が高い。資格取得のための支援も企業選択の大事な要素。働きながら資格取得でき、スキルアップできる点は建設業の魅力のひとつ」との意見や「生徒に興味を持たせるためには、現場見学会や実習などで建設業に触れてもらう機会が必要。今後も協力してほしい」との声があがりました。

長野県建設業協会

<p>博 建設業 青木建設工業株式会社</p> <p>クレームゼロの仕事に心掛けています。</p> <p>代表取締役社長 青木友和</p> <p>上田市上丸子1706 TEL.0268-42-3127 FAX.0268-42-3708</p> 	<p>"地球修理工の感動産業" 建設・環境・人材育成事業を通じて地域の発展を願い 地域と行政の橋渡しをする……</p> <p>SUNOYARA 春原建設株式会社</p> <p>代表取締役社長 春原文浩</p> <p>長野県上田市住吉1-7</p> <p>"困ったら"…まずは電話!! TEL.0268-22-7018 FAX.0268-27-4094</p>  
<p>特定建設業</p> <p>要 有限会社 岩下組</p> <p>代表取締役 岩下通孝</p> <p>小県郡青木村大字村松1721 TEL.0268-49-2023 FAX.0268-49-2774</p>  	<p>善 千曲建設工業株式会社</p> <p>上田市諏訪形973-1 TEL. 0268-22-3835 E-mail : info@chikumakk.co.jp http://www.chikumakk.co.jp</p> <p>CHIKUMA チクマホーム</p>  
<p>法令を遵守し施工致します</p> <p>勝 株式会社 金井組</p> <p>代表取締役 北田雄一</p> <p>小県郡長和町大門119 TEL.0268-68-2137(代) FAX.0268-68-2677</p> 	<p>TOBUKAIHATSU 確かな技術・誠意ある施工 地域からさらに信頼される会社を目指して!!</p> <p>東部開発株式会社</p> <p>代表取締役社長 柳沢昌美</p> <p>〒389-0506 長野県東御市衾津1304 TEL.0268-62-0480 FAX.0268-64-3848 E-mail : info@tobu-kaihatsu.jp</p>  
<p>自然に囲まれたこの環境を私達の手で大切に守りたい。 後世に残る品質と信頼を目指して…</p> <p>KITAZAWA 北澤土建株式会社</p> <p>本社 長野県上田市武石沖471-1 TEL.0268-85-2039(代) FAX.0268-85-3394 URL : http://www.kitazawadoken.co.jp E-mail : master@kitazawadoken.co.jp 東御支店 TEL.0268-62-1674</p>  	<p>HATA 株式会社 羽田組</p> <p>代表取締役社長 佐藤公明</p> <p>小県郡長和町和田1540-1 TEL.0268-88-2012 FAX.0268-88-2774</p>  
<p>アイデアをかたちにし、新しい時代の住宅を自社開発。 いつまでも居心地のいい時間、空間の家を提供します。</p> <p>【創業 昭和27年】</p> <p>KUBOTA 窪田建設株式会社</p> <p>〒386-1213 長野県上田市古安曾1116 TEL : 0268-38-3050 MAIL : kubota@n-h-n.com</p> <p>YouTubeでお客様へ家づくりを発信! チャンネル登録者2.5万人以上! 総再生数450万回以上! 話題の動画も自社で運営しています!</p> <p>創設 家 塚</p> <p>President Director 窪田 秀徳</p> <p>自社開発ブランド 縁組家を動画で チェックください >>></p>  	<p>平野建設株式会社</p> <p>代表取締役 平野 仁一</p> <p>上田市御所606-1 TEL.0268-27-3345 FAX.0268-25-3598</p>
<p>株式会社 倉島組</p> <p>代表取締役 倉島 卓司</p> <p>上田市上丸子1385 TEL 0268-75-7078 FAX.0268-75-7079</p>	<p>喜 有限会社 深井組</p> <p>代表取締役 深井 伸一</p> <p>上田市東内411-4 TEL.0268-42-2053 FAX.0268-42-7117</p>
<p>「常に誠実であれ!」をモットーに 「技術」と「品質」で地域の明日を創造します。</p> <p>音 株式会社 栗木組</p> <p>代表取締役社長 栗木悦郎</p> <p>上田市長瀬3918 TEL.0268-34-7666 FAX.0268-35-3433</p>  	<p>大正3年創業 誠意と信用と技術で地域社会に貢献する</p> <p>嘉 株式会社 宮嘉組</p> <p>代表取締役社長 宮島 聖二</p> <p>上田市蒼久保1416-1 TEL.0268-35-0032(代) FAX.0268-35-0086</p> 

上小支部の仲間たち

令和4年2月現在

<p>未来を建てる。それが私たちの使命です。</p>  <p>株式会社 宮下組</p> <p>代表取締役社長 石塚博敏</p> <p>〒386-0017 長野県上田市踏入二丁目1番17号 TEL.0268-22-0271(代) FAX.0268-25-6123</p> 	<p>建設業</p> <p>池田株式会社 TEL.0268-72-2251 FAX.0268-72-2245</p> <p>上田市真田町長7166-2 代表取締役 池田豊文</p> <p>元祖やきとり 備長炭焼</p> <p>千串屋</p> <p>TEL.0268-71-0357 FAX.0268-71-0358</p> 
<p>明治15年創業</p>  <p>柳屋建設株式会社</p> <p>代表取締役 小河原嘉彦</p> <p>上田市中央 2-13-17 TEL.0268-24-3220</p>  	<p>夢を形に 楽しい 住まい造りグループ</p> <p>建築・土木請負</p> <p>株式会社 永井建設</p> <p>代表取締役 永井大輔</p> <p>上田市五加254番地 TEL.0268-38-2336(代) FAX.0268-38-8194</p>
<p>株式会社 創恒</p> <p>代表取締役 金井利亀</p> <p>上田市古安曾1593-1 TEL.0268-39-2888 FAX.0268-39-2889</p>	<p>豊かな郷土づくりに貢献する</p>  <p>木島建設株式会社</p> <p>土木・建築・造園・設計施工</p> <p>〒386-2201 上田市真田町長6116-1 TEL.0268-72-2267 FAX.0268-72-4160</p> 
<p>株式会社 小山産業</p> <p>代表取締役 小山俊夫</p> <p>小県郡長和町和田1485番地1 TEL 0268-88-2045 FAX 0268-88-2035</p> 	<p>株式会社 堀内建設</p> <p>周辺環境に配慮した土木工事を提供します 技術力と信頼で地域へ貢献します 代表取締役 金森潤哉</p> <p>TEL.0268-75-8468 FAX.0268-75-8469</p> 
<p>三共テック株式会社</p> <p>代表取締役社長 須江啓一</p> <p>〒386-0002 上田市住吉370-1 TEL0268-23-1842 FAX0268-27-0909</p> 	<p>MATSUI 技術・品質・サービスを地域の皆様へ!!</p> <p>株式会社 松井建設</p> <p>代表取締役 松井智哉</p> <p>長野県上田市武石小沢根215-1 TEL.0268-85-2709 FAX.0268-85-2409</p> 
<p>竹花工業株式会社 TOTAL CONSTRUCTION</p> <p>代表取締役社長 田中支店長 山浦友二</p> <p>東御市県518 TEL.0268-62-0144 FAX.0268-62-1119</p>  	<p>信頼と技術と真心でお応えする住み良い街づくりのパートナー</p> <p>山真建設有限会社</p> <p>代表取締役 山岸信幸</p> <p>長野県上田市芳田2114-7 TEL:0268-35-3651 FAX:0268-35-3688 URL:https://yamashin-c.jp/ E_mail:info@yamashin-c.jp</p> 
<p>“地域に根差し、地域と共に歩む。お客様の笑顔と信頼を得る” ことを大切にしています。</p>  <p>株式会社 小幡</p> <p>代表取締役 小幡晃大</p> <p>上田市材木町1丁目9-15 http://www.obt.co.jp TEL.0268-28-1877 FAX.0268-22-8590</p>  	<p>株式会社 関南</p> <p>代表取締役 大森一馬</p> <p>上田市住吉331-3 TEL.0268-25-0706 FAX.0268-25-0707 [URL]https://www.tonami1073.net</p> 



石塚夕起さん
 株式会社 下組 / 入社5年
 仕事内容:「現場代理人、総務で若手育成や広報など人事的なことをしています」

やりがいを感じる時

現在、地中に電線を埋める工事を行っています。完成後に見えるのは、ほんのわずかな表面だけ。そこにとても面白味を感じています。多くの人が関わり、一人ではなくチームでそれぞれの役割をこなし、携わったみんなの苦労が詰まった現場は、私にとって大切な場所です。

大切にしていること

常に相手を敬う気持ちを大切に、誠実さ、謙虚さを忘れずにいたいと思っています。地元の方とは、挨拶プラスなにか一言お話すなど、コミュニケーションも大事にしていますね。

これからの目標を教えてください

現場説明会で高校生と接した際、建設業があまり良いイメージを持たれていないことがわかり、危機感を覚えました。それ以降、若者の心理や伝え方の勉強をして毎回ブラッシュアップして臨んでいます。そういった経験を生かし、今後は建設業全体のイメージアップを図りたいと思っています。支部の女性部会の会長もさせていただいているので、女性が働きやすい業界にもしていきたいです！



佐藤雅史さん
 株式会社 羽田組 / 入社10年
 仕事内容:「主に現場監督、専務という立場で仕事をしています」

やりがいを感じる時

どんなに小さな現場でも、苦勞して問題を解決し、無事に工事が完成した時です。建設業は一人ではできません。協力し合う仲間ができることも、この仕事の良いところだと思います。

大切にしていること

自分がこの業界に入って嫌な思いをした時のことを忘れず、今いる仲間にはそんな思いをさせないように心がけています。

これからの目標を教えてください

建設業のイメージを変えたいです。「カッコいい！」なんて子どもに憧れてもらえるような(笑)。そして、この業界にもっと若い子が増えるようにしていきたいです。いま、土木の技術はもの凄いスピードで進化しています。昨年の伊豆の土砂災害では、土木の専門家ではなく、全国の技術者などがオンライン上で集まり、わずか数時間で土砂の流出量をデータ解析したそうです。それを知った時は熱いものを感じました。日々進化していくなかで新しい技術を取り入れつつ、昔の技術・人とのつながりも大切に、これからも努力していきたいです。



この頃、コロナ関連のニュースを聞いていると、気になることがある。それは「緊急事態宣言の発出」という言葉である。一体「発出」なんて聞きなれない言葉を使う必要があるのか。「緊急事態」を宣言すると言えば、十分だと思う。

また、「不要不急の外出を控えるように」と連日報道されていた時期があった。それが習慣になってしまったのか、この間の北陸の大雪の時、テレビで気象予報士が「今夜は猛吹雪になるので、不要不急の外出は控えてください」と言っていた。でも、考えるまでもなく、用もないのに、吹雪の夜に、わざわざ外出する人なんている訳がない。

ところで、本紙では29号から3年に渡り「台風19号災害特集」をしてきました。この未曾有の災害をきっかけに、少しでも多くの人たちに、「建設業の底力」を知ってもらうことができれば幸いです。

